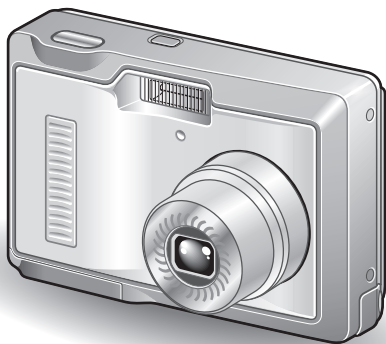
取扱説明書

Uniden®

デジタルカメラ
品番 UDC-5M(W)
UDC-5M(B)

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- 取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 125ページが保証書になっています。お買い上げ日をご記入の上、配送時の伝票と共に大切に保管してください。
- <ユニデンダイレクト>ホームページ http://www.uniden-direct.jp/ で最新情報をご覧いただけます。

■ **Concerning the LCD monitor display language**(外国語を話されるお客さまへ)

The display language on this camera's LCD monitor can be changed (page 127).

本書の読みかた

本書は、本製品の使いかたを以下のように分類して説明しています。

撮影をするまでに、しなければならないことや、ぜひ知っておいていただきたいことを説明しています。

撮影と再生の基本操作を説明しています。

撮影に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

再生に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

モニターの表示やカメラの動作に関する設定のしかたを説明しています。

パソコンやプリンター、テレビへの接続のしかたを説明しています。

カメラを使っていて困った状態になった時や仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたい時に、お読みください。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

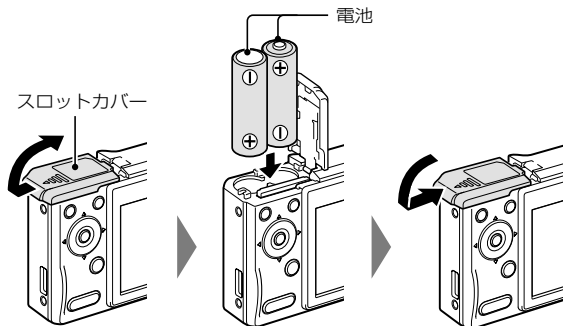
ヒント	もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項
注意!	特に注意していただきたい事項
[P　]	参照ページ

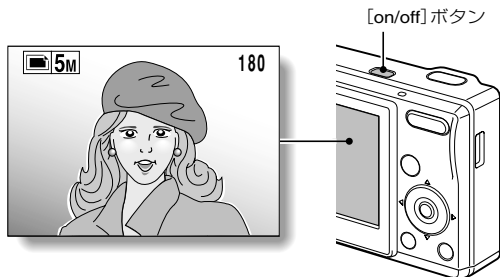
操作中に疑問に感じたり故障かな？と思った時は、「よくある質問[P107]」と「困った状態になった時 [P111]」をご参照ください。

とにかく撮って、見てみよう

電池を装着する

1 スロットカバーを開けて、電池を入れる

- スロットカバーは、カメラの底面にあります。

2 [on/off]ボタンを押して電源を入れる

- 撮影画面が出ます。

撮影する

1 方向ボタンの[▲]を押す

- 撮影モードを選ぶ画面が出ます。

2 方向ボタンの[◀]/[▶]を押して撮影モードを選ぶ

静止画撮影をする場合：
を選ぶ

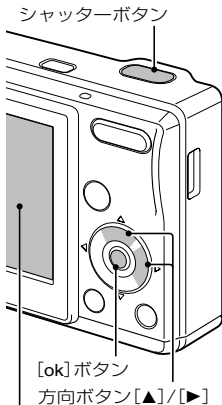
動画クリップ撮影をする場合：
を選ぶ

3 [ok]ボタンを押す

- 撮影モードは、モニターの左上にアイコンで表示します。

4 シャッターボタンを押す

静止画撮影の場合：
静止画を撮影します。

動画クリップ撮影の場合：
録画を開始します。もう一度シャッターボタンを押すと、録画を終了します。

：静止画撮影モード
：動画クリップ撮影モード

注意！
このカメラは、音声は記録しません
- 動画クリップ撮影では、画像だけを記録します。

再生する

静止画再生

1 再生ボタン[▶]を押す

- 再生画面に切り替わります。
- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、他の画像を見ることができます。
- 再生ボタン[▶]を押すと、撮影画面に戻ります。

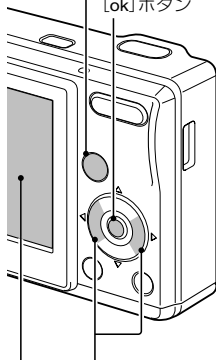
動画クリップ再生

1 再生ボタン[▶]を押す

- 再生画面に切り替わります。
- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、再生する動画クリップを出してください。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

2 [ok]ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- 再生ボタン[▶]を押すと、撮影画面になります。

<動画クリップ再生画面>

使い終わったら・・

[on/off]ボタンを押して電源を切ってください。

使いかた早見もくじ

このカメラには、便利な機能があります。「思いどおりの写真を撮りたい」「いろいろな方法で画像を見たい」という時には、このもくじを参考にして目的の操作を探してください。

	基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
撮影	**暗い場所で撮影する** ►露出を補正する[P58] ►フラッシュを設定する[P45] ►シーン機能を使う(夜景ポートレートモード)[P42]		
		カメラの感度を上げる ►ISO感度を設定する[P55]	
	人物を撮影する ►シーン機能を使う(コスメ・ポートレートモード・夜景ポートレートモード)[P42] ►フラッシュを設定する(赤目軽減)[P45]		
	風景を撮影する ►シーン機能を設定する(風景モード)[P42]		
	自分も撮影する ►セルフタイマーを設定する[P47]		
		明るく/暗く撮影する ►露出を補正する[P58]	**カメラの感度を調整する** ►ISO感度を設定する[P55]
		色を変えて撮影する ►シーン機能を使う(モノクロ・セピア)[P42]	**自然な白に撮影する** ►ホワイトバランスを設定する[P56]

使いかた早見もくじ（つづき）

	基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
再生	**とりあえず再生をする** ►動画クリップ再生をする[P39]		
再生	►静止画を再生する[P33]	**画像データを探す** ►9画面マルチ再生をする[P34] **画像の一部を大きく表示する** ►拡大（ズーム）表示をする[P35]	**表示の角度を変える** ►画像を回転表示する[P63]
再生	**連続して再生する** ►スライドショー再生をする[P72]		
再生	**モニターの表示を明るく/暗くする** ►モニターの明るさを設定する[P78]		
データの管理/加工	**画像データを探す** ►9画面マルチ再生する[P34]		
データの管理/加工	**ファイルを消す** ►ファイルを消去する[P36]	**大切な画像を保護する** ►プロテクト（消去禁止）を設定する[P62] **カードを初期化（フォーマット）する** ►カード・内蔵メモリーを初期化する[P86]	
データの管理/加工	**印刷枚数や日付印刷の設定をする** ►プリントを設定する[P66]		
データの管理/加工	**撮影した時の情報を見る** ►静止画の画像情報を表示する[P73]		

もくじ

■準備

■基本操作

もくじ(つづき)

■撮影

■再生

■オプション

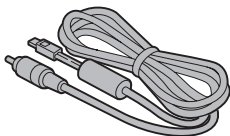
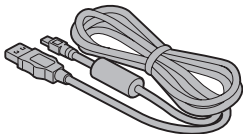
もくじ(つづき)

■他の機器との接続

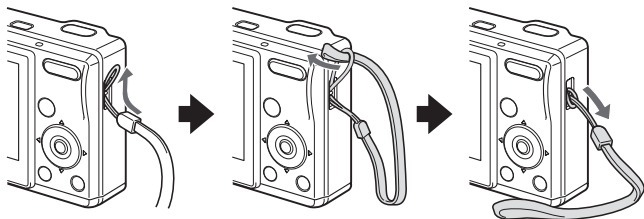
■付録

付属品を確認する

●単3形アルカリ乾電池：2本

●専用ビデオ接続ケーブル：1本

●専用USB接続ケーブル：1本

●安全上のご注意（安全注意説明書）
※必ずお読みください。

ハンドストラップの付けかた

ハンドストラップは付属していませんので、お好みで市販品をお買い求めください。

付属品を確認する（つづき）

このカメラで使えるカードについて

このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- SDメモリーカード
- マルチメディアカード

カードの表記について

- 本書では、このカメラで使用できるSDメモリーカードやマルチメディアカードを｢カード｣と表記します。
- 本書で掲載しているカードのイラストはSDメモリーカードですが、装着・取りはずし・初期化などは、マルチメディアカードの場合でも同じ操作でできます。

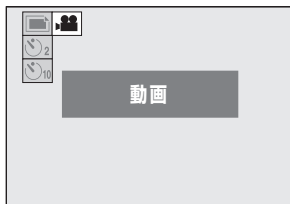
このカメラの楽しみかた

大型モニターを活かした分かりやすい表示、さらに豊富なシーン機能など、デジタルカメラならではの機能を数多く搭載しております。

豊富なシーン機能

撮影条件に応じたさまざまな設定（絞りやシャッタースピードなど）を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

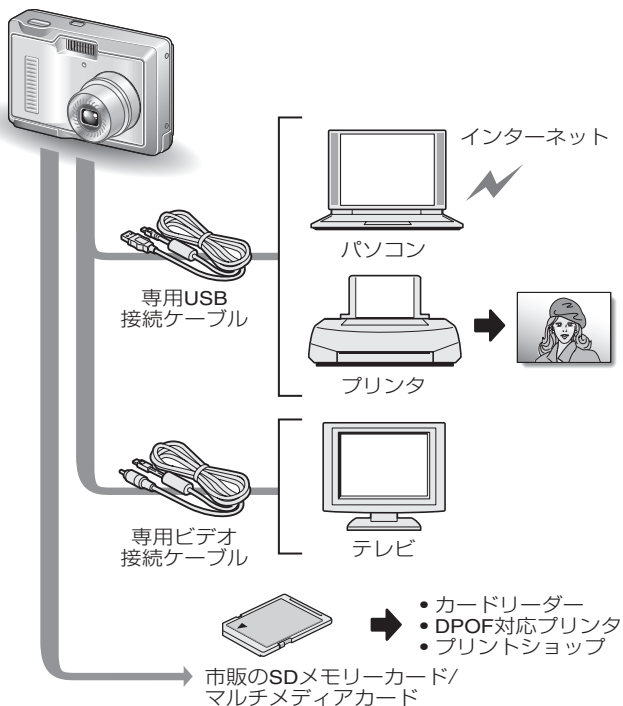
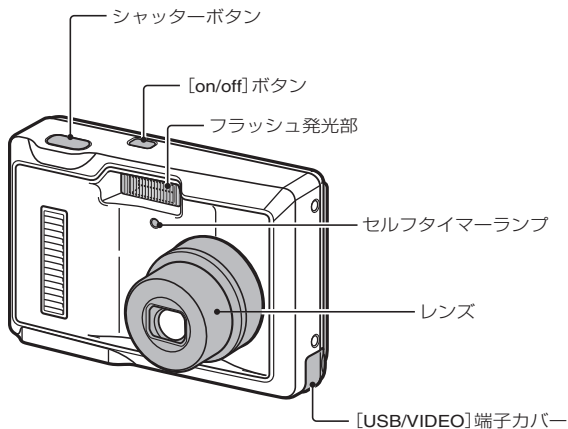
素早いモード切り替え

静止画撮影から動画クリップ撮影への撮影モード切り替えは、ボタン操作のワンアクションで行えます。

システムマップ

付属品を使うと、カメラをパソコンやプリンタ、テレビに接続することができます。パソコンに接続すると、撮影した画像をパソコンのハードディスクなどにコピーすることができます。プリンタに接続すると、撮影した画像を直接プリントすることができます。また、カードを使うと撮影した画像をプリントショップでプリントすることもできます。

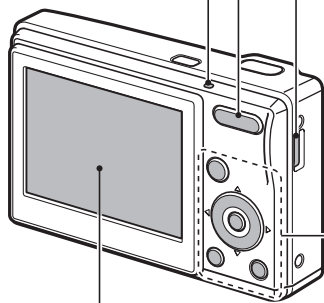
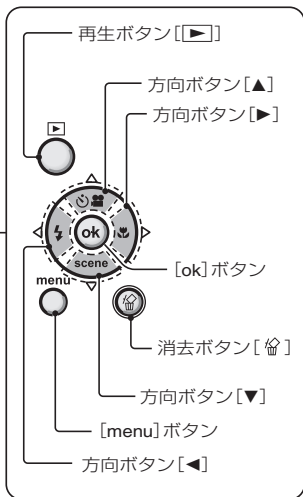
各部の名前

前面

シャッターボタン
［on/off］ボタン
フラッシュ発光部
セルフタイマーランプ
レンズ
［USB/VIDEO］端子カバー

各部の名前（つづき）

後面

照度センサー
・周囲の明るさを感知し、モニターの明るさを自動調整します。

ズームスイッチ

ストラップホルダー

再生ボタン[▶]

方向ボタン[▲]

方向ボタン[▶]

[ok]ボタン

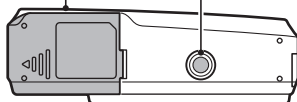
消去ボタン[ ]

方向ボタン[▼]

[menu]ボタン

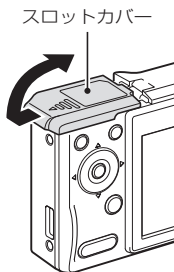
方向ボタン[◀]

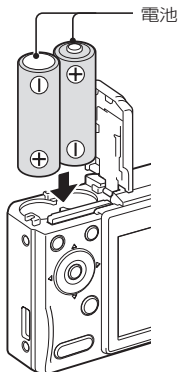
モニター

底面

電池とカードを装着する

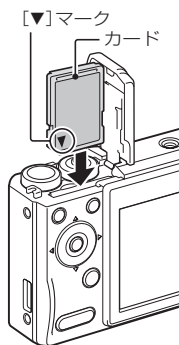
このカメラはメモリーを内蔵しており、カードがなくても撮影することができますが、カードを装着すると、さらに多くの画像を撮影することができます。
カードは、このカメラで初期化（フォーマット）[P86] してから使用してください。

1 スロットカバーを開ける

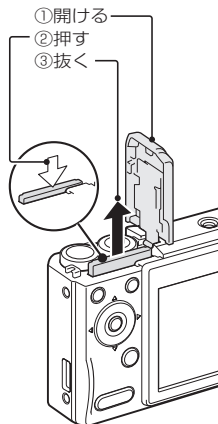
● スロットカバーを軽く押しながらスライドして開けてください。

2 電池を入れる

● 電池は極性（プラス⊕、マイナス⊖）に注意して装着してください。

電池とカードを装着する（つづき）

3 カードを入れる

- カチッと音がするまで、しっかりと入れてください。

4 スロットカバーを閉じる

カードを取り出す時は…

- カードを取り出す時は、カードを押してください。カードを押すと、カードが少し出ますので、そのまま引き抜いてください。

カードの着脱が完全に終わるまでカードから指を離さない

- カードを完全に着脱する前にカードから指を離すと、カードが勢いよく飛び出し、カードの紛失やカードが目に当たってけがをする場合があります。

注意!

カードの取り出しにご注意

- カードは無理に抜かないでください。
- パソコンやプリンタに接続していて、セルフタイマーランプが速い周期で点滅している時は、絶対にカードを取り出さないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

マンガン乾電池は使わない

- マンガン乾電池は電池の寿命が短いばかりではなく、電池の発熱などにより本機の故障の原因になることがあります。

他の電池を使うには

- アルカリ乾電池(LR6)以外の電池を使う場合は、以下の電池をおすすめします。
  - ・単3形充電式ニッケル水素電池(三洋電機㈱製 eneloop(エネループ) HR-3UTG：2本)
  - ・単3形充電式ニッケル水素電池(三洋電機㈱製 単3形2700シリーズ HR-3UG：2本)

電源が入っているときは、電池カバーを開けない

- 電源が入っているときは、電池カバーを開けないでください。データが壊れることがあります。これらの操作による損害について当社は、一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

ヒント

カードがなくても撮影できます

- カードを装着するとカードで撮影/再生ができ、カードを装着しない場合は内蔵メモリーで撮影/再生ができます。また、カードを装着しないで電源を入れると、モニターに内蔵メモリーアイコン INT が出ます。

内蔵バックアップ用電池について

- このカメラは、日付･時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、約2日間ほど電池は装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しない時は電池を取りはずす

- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、カメラを長期間使用しない時は電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池を取りはずすと、日付･時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアすることがありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

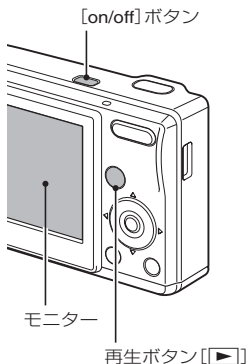
電源を入れる／切る

電源の入れかた

撮影をする場合

1 [on/off]ボタンを押す
- 電源が入ります。
- 電源を入れると、前回に電源を切った時の撮影モードになります。

再生をする場合

1 再生ボタン[▶]を約1秒以上押す
- モニターに再生画面が出ます[P33・39]。

電源の切りかた

1 [on/off]ボタンを押す
- 電源が切れます。

<再生ボタン[▶]を押して電源を入れた場合は>
- 再生ボタン[▶]または[on/off]ボタンを押すと、電源が切れます。

オートパワーオフ機能について

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約 1 分間、再生時:約 3 分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「オートパワーオフ機能」が備わっています。

- オートパワーオフ機能が働いて電源が切れた場合は、[on/off]ボタンを押して電源を入れてください。
- 電源が切れるまでの時間は、変更することができます[P81]。
- 専用USB接続ケーブルでカメラとパソコンまたはプリンタを接続している場合はオートパワーオフ機能が働かず、約12時間後に電源が切れます。

ヒント

アイコンが出る?

- このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付·時刻の設定[P21]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため、アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

日付・時刻を設定する

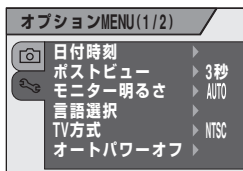
このカメラは撮影した日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2006年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 [on/off]ボタンを押して電源を入れ、[menu]ボタンを押す

- 撮影MENUが出ます[P50]。

2 方向ボタンの[▼]を押して[ ]タグを選ぶ

- オプションMENUが出ます。

3 方向ボタンの[▶]を押して[日付時刻]を選び、[ok]ボタンまたは方向ボタンの[▶]を押す

- 日付時刻画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定する時は、以降の操作をしてください。
- オプションMENUに戻る時は、[menu] ボタンを押してください。

4 日付・時刻を設定する

❶方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、年の設定を変更する

・同様にして月表示、日表示を選び、「2006年12月24日」に設定してください。

❷[ok]ボタンまたは方向ボタンの[▶]を押して時表示を選ぶ

❸方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、時刻の設定を変更する

❹方向ボタンの[▶]を押して、年月日表示を選ぶ

❺方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、日付表示順序の設定を変更する

・[▲]を押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

→年/月/日→月/日/年→日/月/年→

・[▼]を押すと、逆に切り替わります。

日付・時刻を設定する(つづき)

5 [ok]ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わり、オプションMENUに戻ります。
- オプションMENUは、[menu]ボタンを押すと消えます。

ヒント

- このカメラは電池を交換する時に内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付・時刻の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時刻表示を確認されることをおすすめします(操作**1**～**4**)。

日付・時刻を修正するには

- 操作**4**で修正したい表示を選び、設定を変更してください。

撮影の前に

カメラの構えかた

カメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。

良い例

悪い例

指がレンズまたはフラッシュ発光部にかかっている

レンズやフラッシュ発光部に、指やストラップがかからないように注意してください。

- 静止画は、再生時に回転することができます[P63]。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

撮影の前に(つづき)

オートフォーカス(自動ピント合わせ)機能について

このカメラのオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。

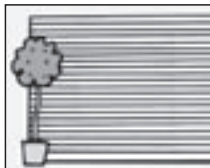
■オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

- **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

  撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロック[P31]した後、構図を決めて撮影してください。

- **縦線のない被写体**

  撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。

次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わない時があります。

- **遠いものと近いものが共存する被写体**

  撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

- **動きの速い被写体**

  撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

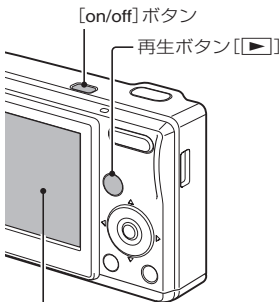
撮影の前に（つづき）

撮影/再生モードを切り替える

撮影をする撮影モードと、撮影した画像を再生する再生モードを切り替えます。

1 [on/off]ボタンを押して電源を入れる

2 再生ボタン[►]を押す

- 再生ボタンを押すたびに、撮影モードと再生モードが切り替わります。

<撮影モード>

<再生モード>

再生モードで電源を入れるには

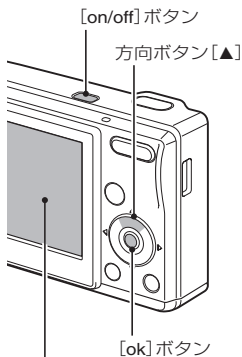
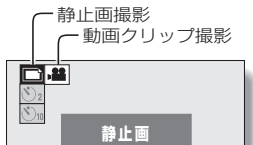
- 再生ボタン[►]を約1秒以上押すと、再生モードで電源が入ります。

撮影モードを切り替える

このカメラには 1 枚の写真を撮影する「静止画撮影モード」と動画クリップを撮影する「動画クリップ撮影モード」があります。

1 [on/off]ボタンを押して電源を入れる

2 方向ボタンの[▲]を押す

- 撮影モードとセルフタイマーを設定する画面が出ます。

3 方向ボタンの[►]を押して撮影モードを選ぶ

4 [ok]ボタンを押す

- 撮影モードを設定しました。
- 撮影モードの設定は、モニター左上にアイコンで表示します。

<撮影モード>

[静止画アイコン]：静止画撮影モード
[動画アイコン]：動画クリップ撮影モード

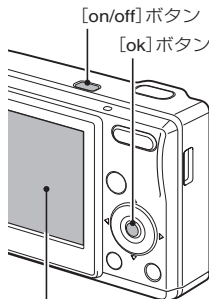
撮影の前に（つづき）

表示モードを切り替える

撮影モードのモニター表示には、撮影の設定状態を確認しながら撮影できる「設定表示モード」と、被写体がよく見えるように撮影の設定状態を表示しない「ノーマル表示モード」があります。

1 [on/off]ボタンを押して、電源を入れる

2 [ok]ボタンを押す

- [ok]ボタンを押すたびに、設定表示モードとノーマル表示モードが切り替わります。

<設定表示モード>

<ノーマル表示モード>

撮影のヒント

撮影した画像の保存先は？

- すべて、内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードに保存します。
- カードを装着している場合はカードに、カードを装着していない場合は内蔵メモリーに保存します。

逆光で撮影すると…

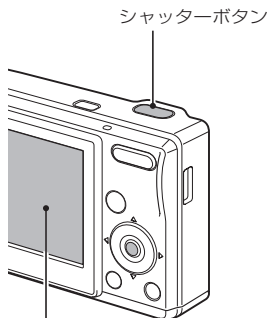
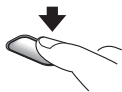
- 逆光で撮影した時は、CCDの特性上、光の筋(スミア)やゴースト模様（フレア現象)が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

静止画撮影・再生をする

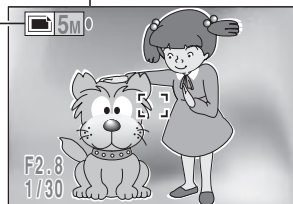
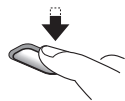
静止画撮影をする

1 静止画撮影モードにする [P28]

2 シャッターボタンを半分押す

- シャッターボタンを半分だけ押すと、オートフォーカスが働いてピント合わせを行います（フォーカスロック）。

シャッターボタン

3 シャッターボタンを静かに押し込む

- シャッターボタンは、カメラがぶれないよう静かに押し込んでください。
- シャッターボタンを押している間、撮影した瞬間の画像がモニターに出ます（ポストビュー）。

静止画撮影アイコン

＜静止画撮影画面＞

4 シャッターボタンから指を離す

● 撮影した画像を保存します。

ヒント

フォーカスロックとは?

● シャッターボタンを半分押してピントを合わせると、半分押しを続けている間はピントが合う距離が固定（ロック）されます。これを「フォーカスロック」と呼びます。被写体にピントを合わせたあと、シャッターボタンを半分押したままカメラを動かして、構図を変更することができます。

どこにピントが合ってるの?

● ピントが合った位置には、ターゲットマーク⛶が出ます。

● ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。

● 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は､大きなターゲットマークが出ます。

ピントシグナルについて

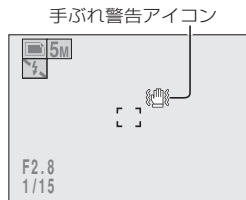
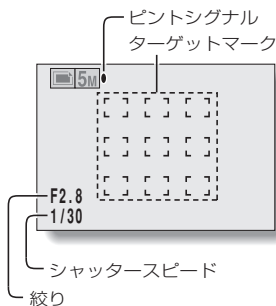
● ピントが合うと緑色、ピントが合っていない場合は赤色で点灯します。

シャッタースピードと絞り値が出ます

● ピントが合ってターゲットマークが出ると、同時にシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。

手ぶれ警告アイコンが出たら?

● 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P45]に設定してください。

● シーン機能の花火モード[花火] 撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

静止画撮影・再生をする（つづき）

静止画を再生する

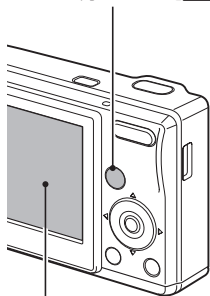
5 再生ボタン[▶]を押す

- 再生ボタン[▶]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[▶]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した静止画が、モニターに出ます。

6 他の画像を出す

- 方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、前後に撮影した画像が出ます。
  前の画像を出す：[◀]を押す
  後の画像を出す：[▶]を押す
- 再生ボタン[▶]を押すと、撮影画面になります。

＜再生ボタン[▶]を押して電源を入れた場合は＞

- 再生ボタン[▶]または[on/off]ボタンを押すと、電源が切れます。

操作が終わったら

- [on/off]ボタンを押して電源を切ってください。

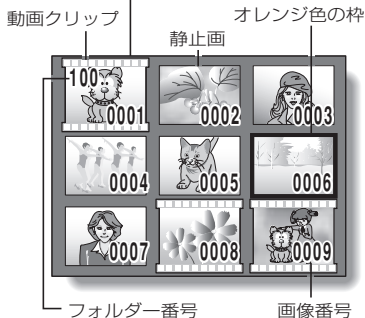
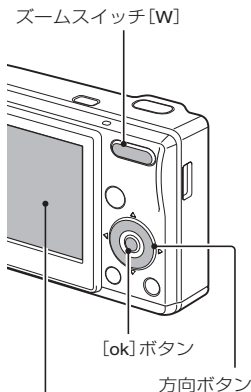
9画面マルチ再生をする

1 再生ボタン[▶]を押す

2 ズームスイッチの[W]([▦])を押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 再生する

- 方向ボタンを押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[ok]ボタンを押してください。
  [ok]ボタンの代わりに、ズームスイッチの[T]([🔍])を押しても、再生できます。

静止画撮影・再生をする(つづき)

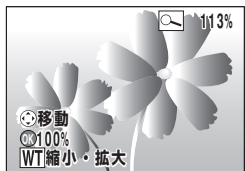
拡大(ズーム)表示をする

1 拡大表示する画像を表示する

2 ズームスイッチの[T]([🔍])を押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- 方向ボタンを押すと、表示部分が移動できます。

拡大する：ズームスイッチの[T]([🔍])を押すごとに倍率が上がります。
元に戻す：ズームスイッチの[W]([▦])を押すごとに倍率が下がります。

- [ok]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。

ファイルを消去する

ファイルの消去方法には、選んだファイルを1つずつ消去する方法と、すべてのファイルを一括して消去する方法があります。

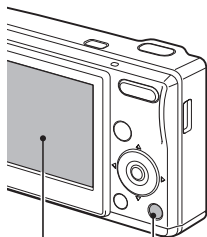
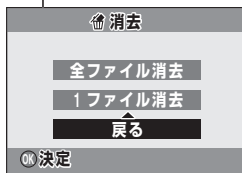
1 カードのファイルを消去する場合はカードを装着し、内蔵メモリーのファイルを消去する場合はカードを取り出す

2 再生モードにし、消去ボタン[ ]を押す

- 消去方法を選ぶ画面が出ます。

[全ファイル消去]：
すべてのファイルを消去します。

[1ファイル消去]：
表示しているファイルを消去します。

[戻る]：再生画面に戻ります。

3 ファイルを消去する

<全ファイル消去する場合>

❶方向ボタンの[◄]/[►]を押して、すべてのファイルを消去しても良いかを確認する

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[全ファイル消去]を選ぶ

❸[ok]ボタンを押す
・消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んで[ok]ボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

静止画撮影・再生をする(つづき)

<1ファイル消去する場合>

❶方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、消去するファイルを表示する

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[1ファイル消去]を選ぶ

❸[ok]ボタンを押す

・表示中のファイルを消去します。
・続けてファイルを消去する場合は、操作❶～❸を行ってください。

注意!

プロテクトがかかっている画像は？

- プロテクトがかかっている画像は、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください[P62]。

ヒント

撮影直後の静止画をすばやく消去するには(ダイレクト消去)

- ポストビュー表示[P77]をしている時に消去ボタン[🗑]を押すと、撮影直後の画像をすばやく消去することができます(静止画のみ)。

①ポストビュー表示中に消去ボタン[🗑]を押す

・消去の確認画面が出ます。

②[はい]を選び、[ok]ボタンを押す

・表示中の画像を消去し、撮影画面に戻ります。
・消去しない場合は、[いいえ]を選んで[ok]ボタンを押してください。

動画クリップ撮影・再生をする

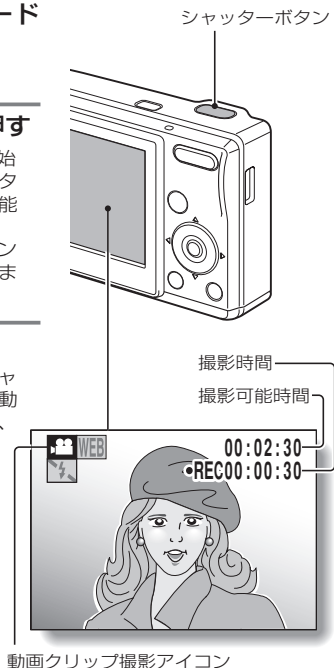
動画クリップ撮影をする

1 動画クリップ撮影モードにする[P28]

2 シャッターボタンを押す

- 動画クリップ撮影を開始します。撮影中はモニターに撮影時間と撮影可能時間が出ます。
- 撮影中、シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

3 撮影を終了する

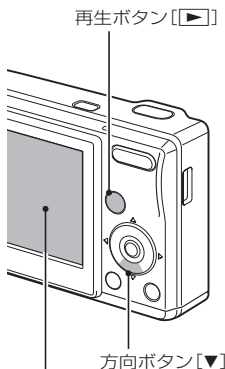
- 動画クリップ撮影中にシャッターボタンを押すと、動画クリップ撮影を終了し、画像を保存します。

注意!

- このカメラは映像のみを撮影し、音声は記録しません。

動画クリップ撮影・再生をする(つづき)

動画クリップ再生をする

4 再生ボタン[►]を押す

- 再生ボタン[►]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[►]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した動画クリップが、モニターに出ます。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

5 [ok]ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- 方向ボタンの[▼]を押すと、再生を中止します。

再生操作一覧

こうするには		こうします
再生中止		再生中に方向ボタンの[▼]を押す
一時停止		再生中に[ok]ボタンを押す 倍速再生中は方向ボタンの[▲]を押す
静止画抜き出し		一時停止中にシャッターボタンを押す
コマ送り再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[►]を押す
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◄]を押す
スロー再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[►]を押し続ける
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◄]を押し続ける
倍速再生	順方向	順方向再生中に方向ボタンの[►]を押す ※方向ボタンの[►]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 方向ボタンの[◄]を押すと、再生速度が元に戻ります。
	逆方向	順方向再生中に方向ボタンの[◄]を押す ※方向ボタンの[◄]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 方向ボタンの[►]を押すと、再生速度が元に戻ります。
通常再生に戻す		[ok]ボタンを押す

操作が終わったら

● [on/off]ボタンを押して電源を切ってください。

動画クリップ撮影・再生をする(つづき)

注意！

音声が出ない？

- 音声は再生できません。

動画クリップは、データ量が多くなります

- 撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラのモニターでは、正常に再生できます)。

カード残量があるのに動画クリップ撮影が止まった？

- お使いのカードによっては、カードに残量があっても撮影を終了する場合があります。
- 動画クリップ撮影をする場合は、なるべく書き込み速度が速いカードをお使いください。

シーン機能を使う

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 撮影モードにし[P27]、方向ボタンの[▼]を押す

- シーンに合わせた設定を選ぶ画面が出ます。

<例：静止画撮影モード>

2 方向ボタンを押して設定を選ぶ

<各設定の特徴>

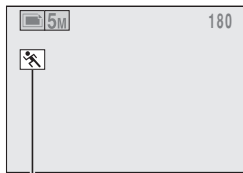
シーン設定	特　徴
AUTO オート	カメラが最適な状態に設定します。
スポーツ	動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます。
ポートレート	背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます。
花	花を色鮮やかに撮影します。
風景	遠くの風景がきれいに撮影できます。
夜景ポートレート	バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます。

（つづく）

シーン機能を使う（つづき）

シーン設定	特　徴
花火	打ち上げ花火を撮影します。
ランプ	非常に暗いところでの撮影に使います。
手ぶれ軽減	シャッタースピードとISO感度を上げて、手ぶれによる撮影画像のぶれを軽減します(静止画撮影モードのみ)。
コスメ	人物を撮影する時に、お肌をきれいに撮影できます。
モノクロ	モノクロ(白黒)撮影ができます。
セピア	色調をセピアカラーにした撮影ができます。
シャープネス	画像の輪郭を強調します。
コントラスト	画像の明暗を強調します。
ビビッド	より色鮮やかに撮影できます。

3 [ok]ボタンを押す

- シーン機能を設定しました。
- 撮影画面に戻ります。
- シーン機能の設定はモニターに出ます。

シーン機能の設定
（AUTO は非表示）

ズーム撮影をする

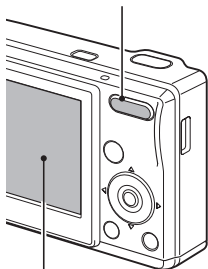
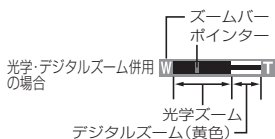
ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。

1 撮影モードにし[P27]、被写体にレンズを向ける

[P27]

2 ズームスイッチを押して、構図を決める

[T]：望遠画面になります。
[W]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチの[T]を押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

ヒント

光学ズームが使えない？

- 動画クリップの録画中はデジタルズームのみ使用でき、光学ズームは動作しません。

フラッシュを設定する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。フラッシュには、4 つの動作(自動発光 / 強制発光 / 発光禁止/赤目軽減)があります。状況に応じて使い分けてください。フラッシュを使って撮影できるのは静止画撮影モードのみです。

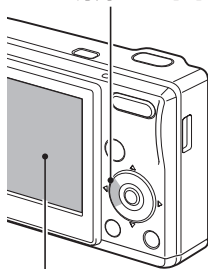
1 静止画撮影モードにし [P28]、方向ボタンの [◀]([ϟ])を押す

- フラッシュの設定が、モニターに出ます。

ϟA：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します(オート発光)。

ϟ：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影する時に使います(強制発光)。

(発光禁止アイコン)：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影する時などに使います（発光禁止)。

ϟ◎：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが予備発光した後に正式発光します。この時、人物の目が赤く写る現象(赤目現象)を軽減します(赤目軽減)。

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、フラッシュ動作を選び、[ok]ボタンを押す

3 シャッターボタンを押して撮影する

- 設定したフラッシュ動作で撮影します

自動発光の時は

- フラッシュの設定を示すアイコン⚡Aは、撮影画面に出ません。
- 自動発光モードの撮影でフラッシュが必要な場合は、ピントが合った時に⚡Aアイコンがモニターに出て、フラッシュの発光をお知らせします。

セルフタイマーを設定する

静止画撮影モードでは、セルフタイマーを使った撮影ができます。

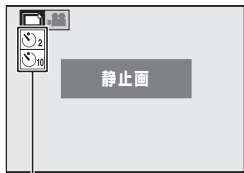
1 撮影モードにし[P27]、方向ボタンの[▲]を押す

セルフタイマーメニュー

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、セルフタイマーの設定を選ぶ

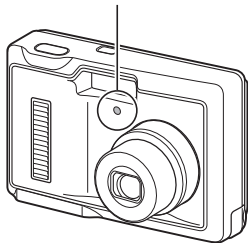
- 2：シャッターボタンを押した2秒後にシャッターを切ります。
- 10：シャッターボタンを押した10秒後にシャッターを切ります。

3 [ok]ボタンを押す

- セルフタイマーを設定しました。

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、シャッターが切れる前に、もう一度シャッターボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、シャッターボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーを使わない設定[■]にしてください。
- セルフタイマー撮影が終わると、セルフタイマーを使わない設定になります。

[⏱10]アイコンを選んだ場合は

- シャッターボタンを押すとセルフタイマーランプが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。
- 撮影を開始する約3秒前になると、セルフタイマーランプの点滅が速くなります。

フォーカスレンジを設定する

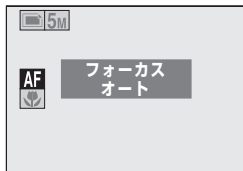
1 撮影モードにし[P27]、方向ボタンの[▶]を押す

- フォーカスレンジを設定する画面が出ます。

AF：10cm(Wide端)または40cm(Tele端)～∞mの範囲で、自動的にピントを合わせます(オートフォーカス)。

[マクロ]：5cm(Wide端)または40cm(Tele端)～70cmの範囲で、ピントを合わせることができます(マクロ)。

5M

AF

フォーカス
オート

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してフォーカスレンジを選び、[ok]ボタンを押す

- フォーカスレンジを設定し、撮影画面に戻ります。

ヒント

- マクロ[マクロ]に設定するとズームをWide端にします。

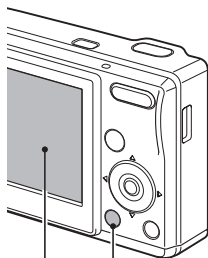
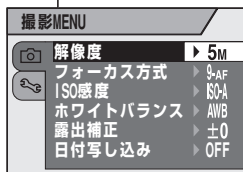
撮影MENUを出す

撮影に関する細かな設定は、撮影 MENU から行います。

1 撮影モードを設定する [P28]

[P28]

2 [menu]ボタンを押す

- 操作**1**で設定した撮影モードの撮影MENUが出ます。
- 撮影MENUは、[menu]ボタンを押すと消えます。

撮影MENUを出す（つづき）

撮影MENUの紹介

❶解像度メニュー/動画モードメニュー[P53]

<静止画撮影モード>

5M：2,592×1,944ピクセルで撮影します。

3M：2,048×1,536ピクセルで撮影します。

1M：1,024×768ピクセルで撮影します。

0.3M：640×480ピクセルで撮影します。

<動画クリップ撮影モード>

WEB：320×240ピクセルで撮影します。

TV：640×480ピクセルで撮影します。

❷フォーカス方式メニュー[P54]

9-AF：9点測距で撮影します。

S-AF：スポットフォーカスで撮影します。

❸ISO感度メニュー[P55]

ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO64〜400相当)。

64：ISO感度64相当で撮影します。

100：ISO感度100相当で撮影します。

200：ISO感度200相当で撮影します。

400：ISO感度400相当で撮影します。

800：ISO感度800相当で撮影します。

❹ホワイトバランスメニュー[P56]

AWB：カメラが自動的に判断し、撮影します。

☼：晴天時の設定です。

☁：曇天時の設定です。

蛍光灯：蛍光灯照明時の設定です。

白熱灯：白熱灯照明時の設定です。

✎：より正確にホワイトバランスを設定します。

❺露出補正メニュー[P58]

明るさを変えて撮影します。

❻日付写し込みメニュー[P59]

撮影時、静止画に日付を写し込みます(静止画撮影モードのみ)。

※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

解像度／動画モードを設定する

解像度(ピクセル数)は、数値が大きいほどきめ細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 撮影MENUを出す[P50]

2 静止画撮影モードの場合は[解像度]、動画クリップの場合は[動画モードQTM]を選び、[ok]ボタンを押す

- 解像度メニューまたは動画モードメニューが出ます。

<例：静止画撮影モード>

<静止画撮影モード>

5M ：2,592×1,944ピクセルで撮影します。
3M ：2,048×1,536ピクセルで撮影します。
1M ：1,024×768ピクセルで撮影します。
0.3M ：640×480ピクセルで撮影します。

<動画クリップ撮影モード>

TV ：640×480ピクセルで撮影します。
WEB ：320×240ピクセルで撮影します。

3 目的のアイコンを選び、[ok]ボタンを押す

- 解像度/動画モードを設定しました。

フォーカスエリアを設定する

静止画撮影時のオートフォーカス(ピント合わせ)の方式は、以下の 2 種類から選べます。
9 点測距フォーカス:モニターから見える撮影範囲の 9 箇所のフォーカスポイントでピントを合わせます。ピントが合ったところには、ターゲットマーク ⛶ が出ます。
スポットフォーカス:モニターの中央部分の被写体にフォーカスを合わせます。

1 撮影MENUを出す[P50]

2 [フォーカス方式]を選び、[ok]ボタンを押す

- フォーカス方式メニューが出ます。

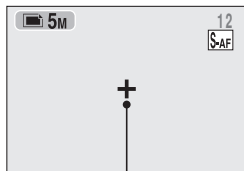
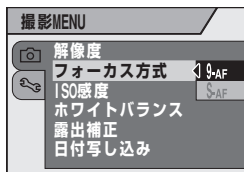
9-AF:9点測距フォーカスになります。

S-AF:スポットフォーカスになります。

- スポットフォーカスに設定した場合は、モニター中央にフォーカスマーク+が出ます。

フォーカスマーク

3 目的のアイコンを選び、[ok]ボタンを押す

- フォーカスエリアを設定しました。

ＩＳＯ感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を固定することができます。

1 撮影MENUを出す[P50]

2 [ISO感度]を選び、[ok]ボタンを押す

- ISO感度メニューが出ます。

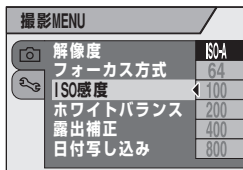
ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO64～400(動画撮影時：ISO256～800)相当)。

64：感度をISO64(動画撮影時：ISO256)相当に設定します。

100：感度をISO100(動画撮影時：ISO400)相当に設定します。

200：感度をISO200(動画撮影時：ISO800)相当に設定します。

400：感度をISO400(動画撮影時：ISO1,600)相当に設定します。

800：感度をISO800(動画撮影時：ISO3,200)相当に設定します。

3 目的のアイコンを選び、[ok]ボタンを押す

- ISO感度を設定しました。

ヒント

- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にノイズが増える場合があります。

注意！

動画クリップ撮影でフリッカー(画面のちらつき)が発生する？

- ISO感度を**800**に設定し、蛍光灯照明の下で動画クリップ撮影をすると、撮影画像に激しいフリッカーが発生する場合があります。

ホワイトバランスを設定する

このカメラは、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 撮影MENUを出す[P50]

2 [ホワイトバランス]を選び、[ok]ボタンを押す

- ホワイトバランスメニューが出ます。

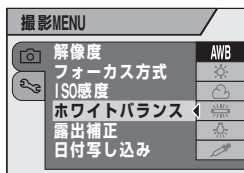
AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。

[晴天]：晴天時の設定です。

[曇天]：曇天時の設定です。

[蛍光灯]：蛍光灯による照明時の設定です。

[白熱灯]：白熱灯による照明時の設定です。

[ワンプッシュ]：より正確にホワイトバランスをとる時の設定です(ワンプッシュ)。光源が特定できない場合などに使用してください。

ホワイトバランスを設定する(つづき)

3 目的のアイコンを選び、[ok]ボタンを押す

- アイコンを選んだ場合は、画面いっぱいに白い紙を表示し、[ok]ボタンを押してください。
- ホワイトバランスの設定ができました。

ヒント

ホワイトバランスの設定を解除するには

- 操作**1**を行い、AWBアイコンを選んで[ok]ボタンを押します。

露出を補正する

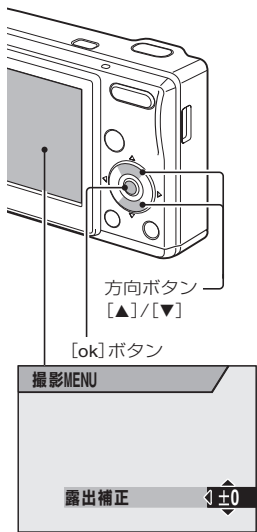
明るさを変えて撮影することができます。

1 被写体にレンズを向け、撮影MENUを出す[P50]

2 [露出補正]を選び[ok]ボタンを押す

- 露出補正を設定する画面が出ます。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して補正値を選び、[ok]ボタンを押す

- 露出補正を設定し、撮影MENUに戻ります。

ヒント

- 電源を切ると、露出補正の設定は「±0」になります。

静止画に日付を写し込む

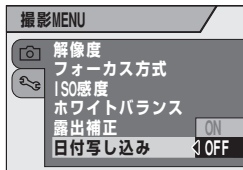
撮影時、静止画に日付を写し込むことができます。

1 撮影MENUを出す[P50]

2 [日付写し込み]を選び、[ok]ボタンを押す

● 日付写し込みを設定する画面が出ます。

[OFF]：日付を写し込みません。

[ON]：日付を写し込みます。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して設定を選び、[ok]ボタンを押す

● 日付写し込みを設定し、撮影MENUに戻ります。

ヒント

写し込んだ日付が「----.--.--」になる？

● 日付・時刻を設定していません。カメラの日付・時刻を設定してください[P21]。

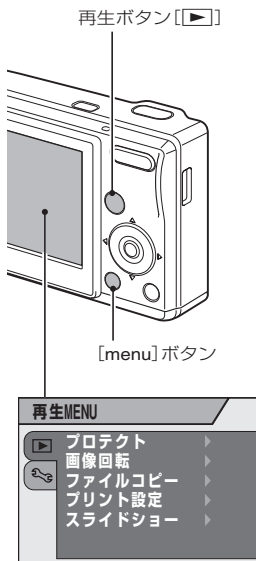
再生MENUを出す

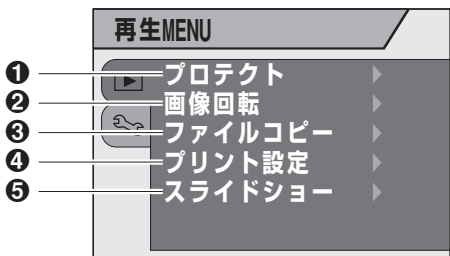
再生の設定は、再生MENUから行います 。

1 再生ボタン[▶]を押す

- 再生画面になります。

2 [menu]ボタンを押す

- 再生MENUが出ます。
- 再生MENUは、[menu]ボタンを押すと消えます。

再生MENUを出す（つづき）

再生MENUの紹介

❶ [プロテクト] [P62]
- データにプロテクト（消去禁止）を設定します。

❷ [画像回転] [P63]
- 静止画を回転表示します。

❸ [ファイルコピー] [P64]

❹ [プリント設定] [P66]
- 印刷の設定を行います。

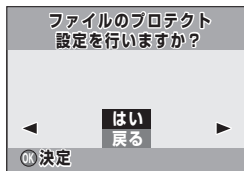
❺ [スライドショー] [P72]
- スライドショー再生をします。

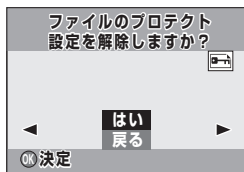
プロテクト(消去禁止)を設定する

データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

1 プロテクトを設定するデータを表示し、再生MENUを出す[P60]

2 [プロテクト]を選び、[ok]ボタンを押す

- プロテクトを設定する画面が出ます。

3 [はい]を選び、[ok]ボタンを押す

- データにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したデータには、プロテクトマークが付きます。

注意！

- プロテクトをかけたデータでも、カードを初期化すると消えます[P86]。

ヒント

操作2・3の画面で、他の画像を選ぶには

- 方向ボタンの[◄]/[►]を押します。

プロテクトを解除するには

- プロテクトを解除するデータを表示し、操作**1**～**3**を行ってください。

画像を回転表示する

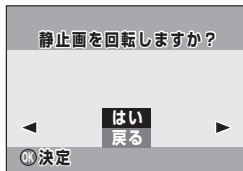
静止画を回転して見ることができます。

1 回転する画像を表示し、再生MENUを出す[P60]

2 [画像回転]を選び、[ok]ボタンを押す

- 画像を回転する画面が出ます。

3 [はい]を選び、[ok]ボタンを押す

- [ok]ボタンを押すごとに、画像が90°回転します。

ヒント

- 9画面マルチ再生では、回転した表示になりません。
- プロテクトした画像は回転できません。

ファイルをコピーする

撮影した画像をカメラの内蔵メモリーからカードへ、カードから内蔵メモリーへとコピーすることができます。

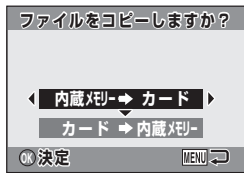
1 カメラにカードをセットする[P16]

2 再生MENUを出す[P60]

3 [ファイルコピー]を選び、[ok]ボタンを押す

- ファイルをコピーする画面が出ます。

4 コピー方向を選ぶ

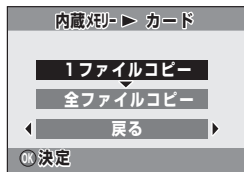
[内蔵メモリー►カード]：
内蔵メモリーの画像データをカードへコピーします。
[カード►内蔵メモリー]：
カードの画像データを内蔵メモリーへコピーします。
※カードを装着していないと、コピーすることができません。

ファイルをコピーする(つづき)

5 [ok]ボタンを押す

- コピーのしかたを選ぶ画面が出ます。
- 画面の背景には、コピー元の画像が出ます。

[1ファイルコピー]：データを1つずつコピーします。

[全ファイルコピー]：コピー元のデータをすべてコピー先へコピーします。

内蔵メモリー ▶ カード
1ファイルコピー
全ファイルコピー
戻る
OK 決定

6 コピーのしかたを選ぶ

＜[1ファイルコピー]を選ぶ場合＞

①方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、コピーするデータを表示する
②方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[1ファイルコピー]を選ぶ

＜[全ファイルコピー]を選ぶ場合＞

①方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[全ファイルコピー]を選ぶ

7 [ok]ボタンを押す

- コピーを実行します。

プリントを設定する

静止画は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。またこのカメラは DPOF 規格を採用しており、プリントする枚数の指定や日付けプリントの有無の指定、さらにインデックスプリントを指定することもできます。

プリントを設定する画面を出す

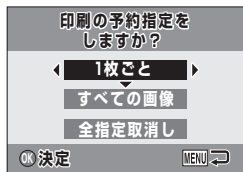
1 再生MENUを出す[P60]

2 [プリント設定]を選び、[ok]ボタンを押す

- プリントを設定する画面が出ます。

[1枚ごと]：
画像1枚ごとにプリントの設定を行います。

[すべての画像]：
カード内のすべての画像にプリントの設定を行います。

[全指定取消し]：
プリント指定の内容をすべて取り消します。

プリントを設定する（つづき）

ヒント

DPOF規格について

- DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を設定することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント設定をすると、予約画像印刷[P104]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

- 画像回転した画像は、元の画像の状態でプリントします。
- プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

注意！

- カードに約1万個以上のファイルが存在する場合、プリントを設定することができません。

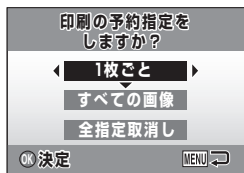
日付・プリント枚数を設定する

1 画像ごとに個別に設定する方法(1 枚ごと)と、カード内の画像すべてに同じ設定をする方法(すべての画像)があります。

1 プリントを設定する画面を出す[P66]

2 [1枚ごと]または[すべての画像]を選ぶ

[1枚ごと]：
表示している画像にプリント設定をします。

[すべての画像]：
カード内のすべての静止画に、同じプリント設定をします。

3 [ok]ボタンを押す

- 日付・プリント枚数設定画面が出ます。
- [1 枚ごと]を選んだ場合は方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、プリント設定をする画像を表示してください。
- モニターの右上には、表示中の画像のプリント設定が出ます。
  方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、各画像のプリント設定が確認できます。

プリント設定状態

プリントを設定する（つづき）

4 プリント枚数または日付プリントを設定する

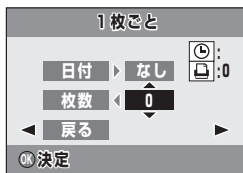
● プリント枚数を設定してから日付プリントを設定してください。プリント枚数を設定していないと、日付プリントは設定できません。

＜プリント枚数を設定する＞

❶方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[枚数]を選ぶ。

❷[ok]ボタンを押す。
・プリント枚数設定画面が出ます。

❸方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、プリント枚数を設定する。
・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]/[▼]を押してください。

❹[ok]ボタンを押す
・日付·プリント枚数設定画面に戻ります。

＜日付プリントを設定する＞

❶方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[日付]を選ぶ。

❷[ok]ボタンを押す。
・日付プリント設定画面が出ます。

❸方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、日付プリントを設定する。
[あり]：日付プリントします。
[なし]：日付プリントしません。

❹[ok]ボタンを押す。
・日付·プリント枚数設定画面に戻ります。

5 [戻る]を選び、[ok]ボタンを押す

● 操作**2**の画面に戻ります。

注意!

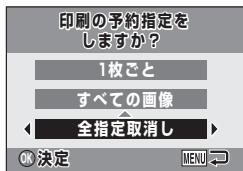
● 日付写し込み[P59]機能をONに設定して撮影した画像には、プリント設定で日付「あり」に設定しないでください。日付写し込み機能をONに設定して撮影した画像には、画像上に日付が写し込まれており、常に日付がプリントされます。プリント設定で日付を「あり」設定すると二重に日付がプリントされてしまいます。

プリントを設定する（つづき）

すべての画像のプリント設定を取り消す

画像のプリント設定をすべて取り消します。

1 プリントを設定する画面を出す[P66]

2 [全指定取消し]を選ぶ

3 [ok] ボタンを押す

- 全指定取消し確認画面が出ます。

[はい]：すべての画像のプリント設定を取り消します。

[戻る]：プリント設定の取り消しを中止して、プリントを設定する画面に戻ります。

4 [はい]を選び、[ok] ボタンを押す

- すべての画像のプリント設定を取り消して、プリントを設定する画面に戻ります。

スライドショー再生をする

1 再生MENUを出す[P60]

2 [スライドショー]を選び、[ok]ボタンを押す

- スライドショーを設定する画面が出ます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[スタート]：スライドショー再生を開始します。

ファイルを自動再生します
切替時間 ▷ 1秒
切替効果 ▷ FADE
◁ スタート
OK 決定　MENU

<切替時間または切替効果の設定を変更する場合>

❶[切替時間]または[切替効果]表示を選び、[ok]ボタンを押す
❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押し、設定を選ぶ
❸[ok]ボタンを押す

3 [スタート]を選び、[ok]ボタンを押す

- スライドショー再生を開始します。
- 再生中に[ok]ボタンまたは[menu]ボタンを押すと、スライドショー再生を中止します。

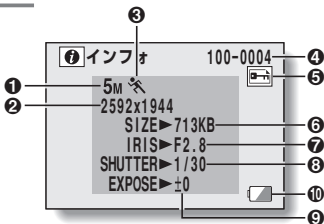
静止画の画像情報を表示する

静止画の撮影情報を表示することができます(インフォ画面)。

1 情報を表示したい静止画を出す

2 [ok]ボタンを押す

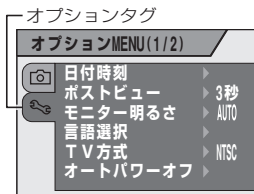
- インフォ画面が出ます。
- インフォ画面は、[ok]ボタンを押すと消えます。

❶解像度の設定
❷解像度
❸シーン機能の設定
❹画像番号
❺プロテクトの設定
❻ファイルサイズ
❼絞り値
❽シャッタースピード
❾露出補正の設定
❿電池残量表示

オプションMENUを出す

カメラの設定は、オプション MENU で行います。

1 撮影または再生MENUを出す

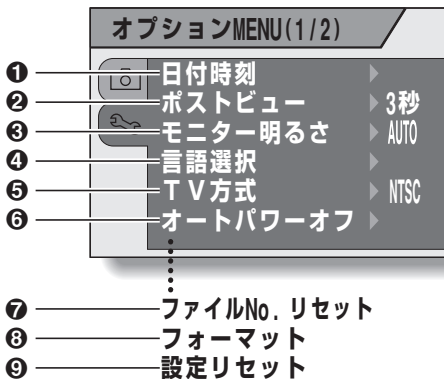
- 撮影MENU→[P50]
- 再生MENU→[P60]

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してオプションタグ [🔧] を選ぶ

- オプション MENUが出ます。

オプション MENU を消すには

撮影画面または再生画面に戻る→[menu]ボタンを押す
撮影MENUまたは再生MENUに戻る→オプションタグ [🔧] を選んだ状態で、方向ボタンの[▲]/[▼]を押す

オプションMENUを出す(つづき)

オプションMENUの紹介

❶[日付時刻] [P21]
- カメラの内蔵時計を設定します。

❷[ポストビュー] [P77]
- 静止画撮影をした後、撮影した画像がモニターに出ている時間を設定します。

❸[モニター明るさ] [P78]
- モニターの明るさを設定します。

❹[言語選択] [P79]
- モニターに表示する言語を設定します。

❺[TV方式] [P80]
- カメラのUSB/VIDEO端子から出るテレビ信号の方式を設定します。

❻[オートパワーオフ] [P81]
- オートパワーオフ機能が働いて、電源が切れるまでの時間を設定します。

❼[ファイルNo.リセット] [P83]
- ファイルNo.リセット機能のON/OFFを設定します。

❽[フォーマット] [P86]
- カメラの内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードをフォーマットします。

❾設定リセット[P88]
- カメラの設定を工場出荷時の状態にします。

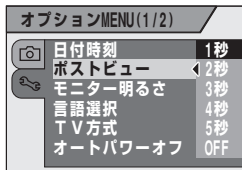
※❼～❾のアイコンは、方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、画面をスクロールすると出ます。

ポストビューを設定する

シャッターボタンを押した後、撮影した画像がモニターに出る(ポストビュー)時間を設定します。

1 オプションMENUを出す [P74]

2 [ポストビュー]を選び、[ok]ボタンを押す

● ポストビューメニューが出ます。

3 目的の設定を選び、[ok]ボタンを押す

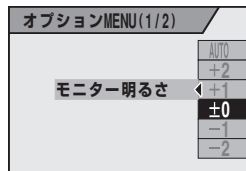
● ポストビューを設定しました。

モニターの明るさを設定する

モニターの明るさを変えることができます。周囲の明るさに合わせて、見やすい明るさに設定してください。

1 オプションMENUを出す [P74]

2 [モニター明るさ]を選び、[ok]ボタンを押す

- モニター明るさメニューが出ます。
- [AUTO]に設定すると、照度センサー[P15]が周囲の明るさを感知し、モニターの明るさを自動的に調整します。

3 目的の設定を選び、[ok]ボタンを押す

- モニターの明るさを設定しました。

表示言語を設定する

カメラのモニターの表示は、11種類の言語から選択できます。

1 オプションMENUを出す [P74]

2 [言語選択]を選び、[ok]ボタンを押す

- 言語を選択する画面が出ます。

3 言語を選び、[ok]ボタンを押す

- 表示言語を設定しました。

ＴＶ方式を設定する

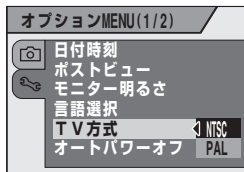
カメラのUSB/VIDEO 端子から出力する映像信号の方式を設定します。

1 オプションMENUを出す[P74]

2 [TV方式]を選び、[ok]ボタンを押す

- TV方式メニューが出ます。

[NTSC]：NTSC 方式の映像信号を出力します(日本･北米など)。

[PAL]：PAL方式の映像信号を出力します(ヨーロッパなど)。

3 目的の設定を選び、[ok]ボタンを押す

- TV方式を設定しました。

ヒント

画像がテレビに映らない？

- TV方式の設定が、接続する機器の信号方式に合っていないと、テレビで画像を見ることができません。

オートパワーオフ機能を設定する

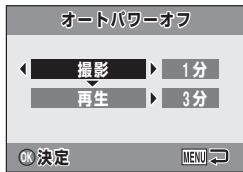
このカメラには、カメラを使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能があります。
電源が切れるまでの時間(待機時間)を設定することができます。

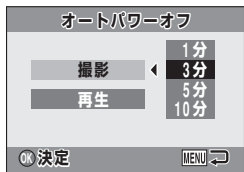
1 オプションMENUを出す [P74]

2 [オートパワーオフ]を選び、[ok]ボタンを押す

- 待機時間を設定する画面が出ます。

[撮影]：撮影モードでの待機時間を設定します。

[再生]：再生モードでの待機時間を設定します。

3 設定する項目を選び、[ok]ボタンを押す

- 待機時間のメニューが出ます。

＜例：[撮影]を選んだ場合＞

4 方向ボタンの[▲]/[▼]を押し、待機時間を選ぶ

5 [ok]ボタンを押す

- オートパワーオフ機能を設定しました。
- 方向ボタンの[◀]を押すと、オプションMENUに戻ります。

ファイルNo.リセット機能を設定する

初期化 [P86] したカードを使うと、撮影した画像のファイル名(画像番号)は自動的に 0001 から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び 0001 から始まります。これはファイル No. リセット機能が入 [ON] になっているためですが､この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など､誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイル No. リセット機能を切 [OFF] にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルNo.リセット機能　入[ON]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

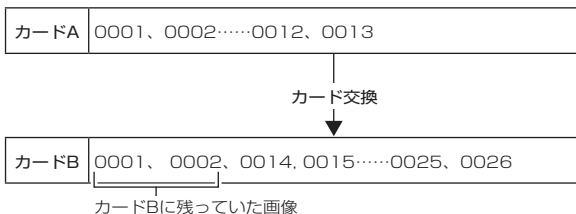
カードB	0001、0002……0012、0013

〈ファイルNo.リセット機能　切[OFF]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

カードB	0014、0015……0025、0026

● 交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。

交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた：撮影中のファイル名を継続した番号になります。

交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた：最後のファイル名からの連番になります。

ヒント

内蔵メモリーの場合は？

● ファイルNo.リセット機能は、内蔵メモリーに対しても同様に働きます。

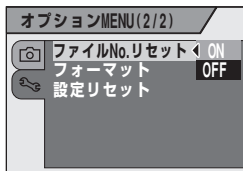
ファイルNo.リセット機能を設定する（つづき）

1 オプションMENUを出す [P74]

2 [ファイルNo.リセット]を選び、[ok]ボタンを押す

- ファイルNo.リセットメニューが出ます。

  [ON]：ファイルNo.リセット機能をONにします。

  [OFF]：ファイルNo.リセット機能をOFFにします。

3 [OFF]を選び、[ok]ボタンを押す

- ファイルNo.リセット機能をOFFに設定しました。

ヒント

- ファイルNo.リセット機能は、ONにするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、ONに戻すことをおすすめします。

カード・内蔵メモリーを初期化する

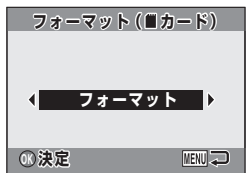
・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカード
は、必ずこのカメラで初期化(フォーマット)してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、初期化できません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、初期化をしてください。

1 カードを初期化する場合はカードを装着し、内蔵メモリーを初期化する場合はカードを取りはずす

2 オプションMENUを出す[P74]

[P74]

3 [フォーマット]を選び、[ok]ボタンを押す

- フォーマットの開始画面が出ます。

<例：カード装着時>

カード・内蔵メモリーを初期化する(つづき)

4 [ok]ボタンを押す

- フォーマットの確認画面が出ます。

5 [はい]を選び、[ok]ボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、[フォーマット中電源を切らないでください]表示が出ます。

注意!

初期化中のご注意

- 初期化中は、カメラの電源を切ったり、カードを入れたり取り出したりしないでください。

初期化をすると、データが消えます

- 初期化すると、記録したデータは、すべて消えます。プロテクトしたデータも消えますので、初期化をする前に大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

カードを廃棄/譲渡するときのご注意(初期化をしてもデータが復元できる?)

- カメラやパソコンの機能によるデータの削除やフォーマットをしても、カードの管理情報を変更するだけで、データはカードに残ったままで、完全には消去できません。
- カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することことをおすすめします。カード内のデータは、お客さまの責任において管理してください。

ヒント

初期化を中止するには

- 操作**5**で[戻る]を選び、[ok]ボタンを押してください。

カメラの設定をリセットする

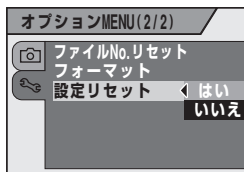
各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 オプションMENUを出す [P74]

2 [設定リセット]を選び、[ok]ボタンを押す

- 設定リセットメニューが出ます。

[はい]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

[いいえ]：カメラの設定を変えず、オプションMENUに戻ります。

3 [はい]を選び、[ok]ボタンを押す

- カメラの設定を工場出荷時の設定にします。

ヒント

- 設定をリセットしても、以下の設定は保持します。
  日付時刻の設定
  言語選択の設定
  TV方式の設定
  ファイルNo.リセットの設定

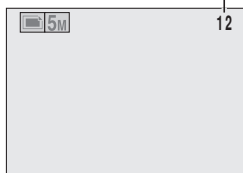
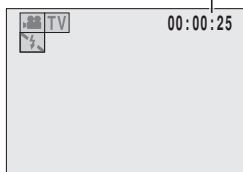
内蔵メモリーやカードの空き容量をチェックする

カードの空き容量は、撮影可能枚数や撮影可能時間の表示で確認することができます。内蔵メモリーや 1 枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 [P120]」を参照してください。

1 [on/off] ボタンを押して電源を入れる

<静止画の撮影可能枚数をチェックする場合>
撮影モードを静止画撮影モードにする[P28]

<動画クリップの撮影可能時間をチェックする場合>
撮影モードを動画クリップ撮影モードにする[P28]

- モニターに撮影可能時間が出ます。
- 撮影可能枚数や時間表示は、解像度の設定に応じて変わります。

<静止画撮影画面>

<動画クリップ撮影画面>

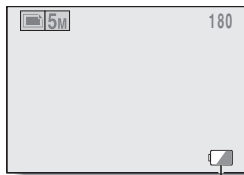
ヒント

- 撮影可能枚数または、撮影可能時間表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、パソコンに画像を保存した後、画像を消去[P36]してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、解像度または動画モードの設定を変えると[P53]撮影が可能になる場合があります。
- 撮影可能枚数の最大値は「9999」、撮影可能時間の最大値は「99：59：59」です。大容量カードをお使いの場合、正しい数値が表示されないことがありますので、ご注意ください。

電池残量をチェックする

電池残量はモニターで確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は 119 ページを参照してください。

1 [on/off] ボタンを押して、電源を入れる

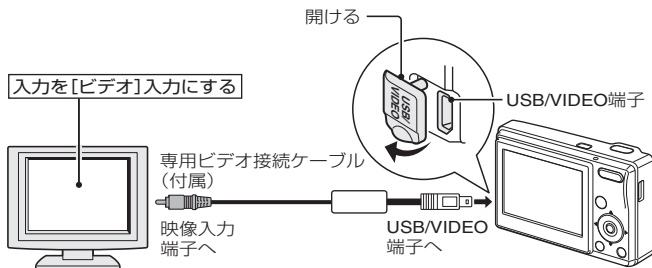
- モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には ◪ 表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

電池残量表示	電池の残量
表示なし	ほぼいっぱいの容量があります。
▮	ほぼいっぱいの容量があります。 （この表示は一部の動作モードでのみ出ます）
◪	容量が少なくなりました。
◺	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
◺（点滅）	撮影時、シャッターボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。電池を交換してください。

電池残量をチェックする(つづき)

ヒント

- 撮影画像がある場合は、インフォ画面[P73]でも電池残量が確認できます。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件(フラッシュの発光回数、モニターの入/切)や周囲の温度(10℃以下の低温)によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。
- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が速くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします(スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください)。

テレビに接続する

カメラの USB/VIDEO 端子と、テレビの映像入力端子を付属の専用ビデオ接続ケーブルで接続します。

再生のしかた

- 接続後、テレビの入力切り替えを[ビデオ]入力にしてください。
- 専用ビデオ接続ケーブルをつないだ時は、カメラのモニターの表示が消えます。
- カメラのモニターでの再生と同じ手順で再生できます。

注意！

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

パソコンに接続する

パソコンに接続すると、カメラをカードリーダーとして使うことができます。

リムーバブルディスクとしての使用上の注意

- カメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがデータを認識できなくなる場合があります。
  変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。
  カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

動作環境

Windows

USB ポートを標準搭載し、Windows ME、2000、XP 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。アップグレードした環境での動作は、保証しません。

Macintosh

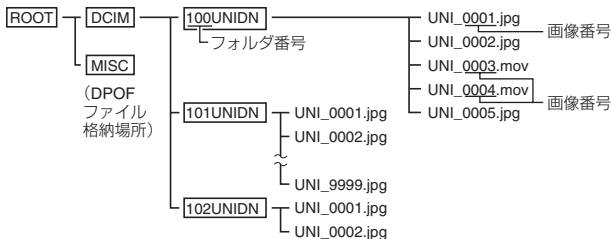
USB ポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X10.1 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画データ	JPEG	UNI_で始まる。拡張子は「.jpg」。 UNI_＊＊＊＊.jpg
動画クリップデータ	QuickTime Movie	UNI_で始まる。拡張子は「.mov」。 UNI_＊＊＊＊.mov*

*記録した順に続き番号が入る

カードのディレクトリ構造

※100UNIDNフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影すると、新たに101UNIDNフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102UNIDN、103UNIDN･･･となります。

ヒント

カメラで撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 3以降を使用して、パソコンで再生することができます。
- QuickTimeは、Apple社のホームページから無償ダウンロードができます。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/download/win.html
  （上記URLは変更される場合があります。）

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.リセット機能を[OFF]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します[P83]。

注意！

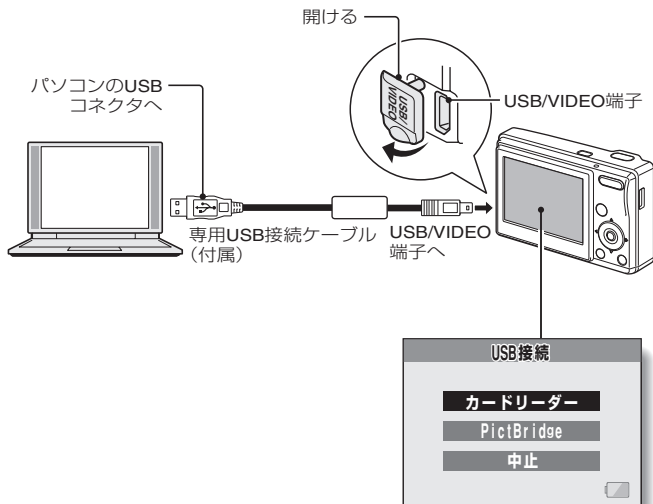
カメラで再生する場合はカードのデータをパソコンで書き換えない

- カメラで撮影した画像データは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

パソコンに接続する(つづき)

カードリーダーモードにする

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続し、カメラの電源を入れる

- カメラのUSB/VIDEO端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

2 [カードリーダー]を選び、[ok]ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。

パソコンに接続する(つづき)

Windows XP

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P95]

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識(マウント)し、[リムーバブルディスク(E:)]ウィンドウが開きます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- [UDC-5M(E:)]ウィンドウから、目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

注意！

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Windows MeおよびWindows 2000

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P95]

- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカードまたは内蔵メモリー内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

パソコンに接続する（つづき）

Mac OS 9.XX

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P95]
- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。
- [名称未設定]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意！
- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[名称未設定]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする
- デスクトップから[名称未設定]アイコンが消えます。
- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS X

マウント／アンマウントは、Mac OS9.xxの場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

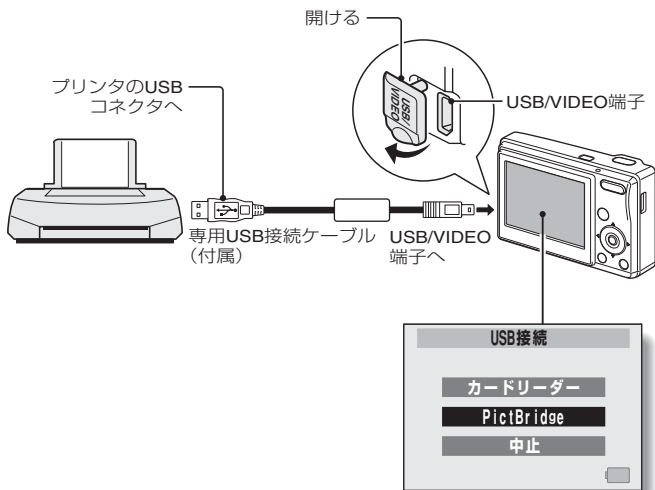
ダイレクト印刷をする

このカメラはPictBridgeに対応しており、PictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラのモニターで写真選択や印刷開始を指定することができます(PictBridge印刷)。

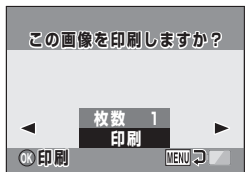
印刷の準備

1 印刷する画像データが入ったカードをカメラに装着する

2 プリンタの電源を入れ、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをプリンタに接続し、カメラの電源を入れる

- カメラのUSB/VIDEO端子とプリンタのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

ダイレクト印刷をする(つづき)

3 [PictBridge]を選んで、[ok]ボタンを押す

- 印刷画像の選択画面が出ます。

注意！

プリンタ接続時の注意

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池残量が十分あることを確認してください。

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

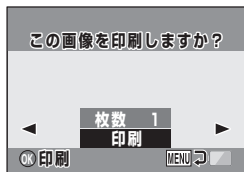
- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

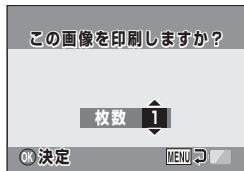
1枚の画像を選んで印刷する（選択画像印刷）

静止画を選んで印刷します。

1 印刷の準備をする[P100]

2 方向ボタンの[◀]/[▶]を押す

- 印刷する画像を表示してください。

3 印刷枚数を設定する

❶[枚数]を選び、[ok]ボタンを押す
❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、印刷枚数を設定する
❸[ok]ボタンを押す

4 [印刷]を選び、[ok]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

印刷を中止するには

❶印刷中に方向ボタンの[▼]を押す
・印刷中止の確認画面が出ます。
❷[はい]を選び、[ok]ボタンを押す
・[戻る]を選んで[ok]ボタンを押すと、印刷を続行します。

ダイレクト印刷をする(つづき)

すべての画像を印刷する(全画像印刷)

すべての静止画を印刷します。

1 印刷の準備をする[P100]

2 [menu]ボタンを押す

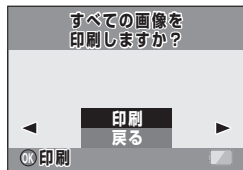
- PictBridge MENUが出ます。

3 [全画像印刷]を選び、[ok]ボタンを押す

- 全画像印刷画面が出ます。

4 [印刷]を選び、[ok]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

他の機器との接続／ダイレクト印刷をする

注意!

静止画が1000枚以上ある場合は印刷できません

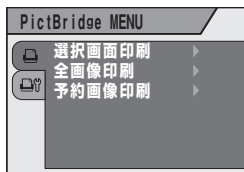
- 不要な画像を消去してから印刷してください。

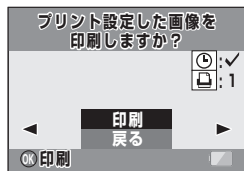
プリント設定をした画像を印刷する（予約画像印刷）

プリントの設定をした静止画を印刷します。

1 プリントの設定[P66]をし、印刷の準備をする[P100]

2 [menu]ボタンを押す

- PictBridge MENUが出ます。

3 [予約画像印刷]を選び、[ok]ボタンを押す

- 予約画像印刷画面が出ます。

4 [印刷]を選び、[ok]ボタンを押す

- 印刷を開始します。
- [ok]ボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

ヒント

- 操作**3**で、方向ボタンの[◄]/[►]を押すと、印刷する画像とDPOFの設定を確認することができます。

注意!

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷はできません。

ダイレクト印刷をする（つづき）

印刷設定を変えて印刷する（プリンタ設定変更）

用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする[P100]

2 プリンタ設定タグ[🖨🔧]を選び、[ok]ボタンを押す

- プリンタ設定MENUが出ます。

[日付印刷]：
撮影年月日を印刷します。

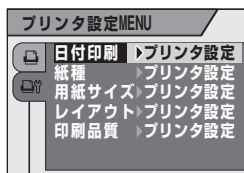
[紙種]：
印刷用紙の紙質を設定します。

[用紙サイズ]：
印刷用紙のサイズを設定します。

[レイアウト]：
印刷用紙への画像の配置を設定します。

[印刷品質]：
印刷画像の美しさを設定します。

プリンタ設定タグ

他の機器との接続／ダイレクト印刷をする

3 プリンタの設定をする

❶方向ボタンを押して設定する項目を選び、[ok]ボタンを押す
・設定を選ぶ画面が出ます。

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して設定を選び、[ok]ボタンを押す
・選んだ項目を設定し、プリンタ設定MENUに戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

<[プリンタ設定]を選んだ場合>
・プリンタで設定している条件で印刷します。

4 [戻る]を選び、[ok]ボタンを押す

● 印刷指定画面に戻ります。

ヒント

● プリンタ設定MENUの設定項目は、接続するプリンタによって異なります。
● プリンタ設定MENUに出ないプリンタ機能を使う場合は、[プリンタ設定]に設定してください。
● プリンタにない機能をカメラで設定した場合、カメラの印刷設定は自動的に[プリンタ設定]になります。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質問	原因	このようにしてください
電源	電源が入らない?	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	すぐに電池がなくなる?	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
		電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換してください。
	表示が出る?	電池残量が少なくなった	新しい電池に交換してください。
撮影	フラッシュが光らない?	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している?	—	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。
	画像の使用目的に合った画質とは?	—	5M:サイズがA4以上の印刷やトリミング(部分拡大)して印刷する場合に適しています。 3M:通常の写真(サービス版)サイズで印刷する場合に適しています。 1M 0.3M:ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。

<table>
<tr><th></th><th>質　問</th><th>原　因</th><th>このようにしてください</th></tr>
<tr><td rowspan="2">撮影</td><td>デジタルズームと光学ズームの使い分けは?</td><td>—</td><td>光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはCCDに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。</td></tr>
<tr><td>遠景撮影時のピント外れをなくすには?</td><td>—</td><td>シーン機能を風景モード に設定して撮影してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">モニター</td><td>寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある?</td><td rowspan="2">液晶の性質による現象</td><td rowspan="2">故障ではありません。
輝点などはモニターにのみ現れるもので、記録することはありません。</td></tr>
<tr><td>赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある?</td></tr>
</table>

よくある質問（つづき）

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、ピントを固定してから、シャッターボタンを静かに押してください。
	画像が出ない（? 表示が出る）？	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	他のカメラで撮影した画像の再生は保証しかねますので、ご了承ください。
	縦の縞模様が出る？	明るい被写体を動画クリップ撮影した時は、モニターや撮影画像に縦の縞模様（スミア）が発生することがある	故障ではありません。
	拡大表示した画像が粗い？	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い？	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。 光学ズームの範囲内で撮影してください。
	パソコンで加工した画像をカメラで再生したい？	—	パソコンで加工したデータの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
印刷	PictBridge 印刷中にメッセージが出た？	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	[カード残量がありません][内蔵メモリー残量がありません]表示が出る？	カードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	不要なデータを消去するか、空き容量のあるカードを使用してください。
	「カードロックされています」表示が出る？	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない？	カメラの回路が一時的に異常になった	電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。
	海外で使用できる？	―	使用できます。ただし、アフターサービスは受けられません。
	[システムエラー]表示が出た？	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても[システムエラー]表示が出る場合は、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにご相談ください。

困った状態になった時

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

カメラ

	困った状態	原因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	電池が消耗している	新しい電池を装着する	16
		電池が正しく入っていない	電池の向きに注意し、正しく入れる	
		スロットカバーを完全に閉じていない	スロットカバーを完全に閉じる	
	なにもしていないのに電源が切れた	オートパワーオフ機能が働いた	故障ではありません。	20
撮影	シャッターボタンを押しても撮影ができない	電源が入っていない	● オートパワーオフ機能が働いている時は電源を入れた後、撮影する ● 電源が切れている場合は、[on/off] ボタンを押す	20
	シャッターボタンを押しても撮影ができない	撮影可能枚数/時間いっぱいに撮影している	カードを交換する	16
			不要な画像を消去してから撮影する 必要な画像は保存してから消去する	36・93
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	45
		電池が消耗している	新しい電池を装着する	16

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありませんズームスイッチをはなし、再度押す	44
	撮影画像にノイズが出る	ISO感度が高すぎる	ISO感度を低く設定する	55
	蛍光灯照明の下での動画クリップ撮影時、撮影画像に激しいフリッカー(画面のちらつき)が発生する	シャッタースピードが速くなるための現象	ISO 感度の設定を 800 以外にする	55
モニター	再生画像が出ない	再生モードになっていない	再生ボタン[►]を押す	27

困った状態になった時（つづき）

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	24
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	118
		逆光で撮影した	強制発光モードで撮影する	45
			露出補正をする	58
		光量が不足していた	ISO 感度を設定する	55
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	45
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	58
		ISO 感度の設定が正しくない	ISO 感度の設定を ISO-A にする	55
	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	フォーカスを正しく設定する	31・49
		フォーカスの設定が正しくない		
		シャッターボタンを押す時にカメラが動いた	カメラを正しく構え、シャッターボタンを正しく押す	24・31
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	―

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	45
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	56
	画像の一部が欠けている	レンズやレンズ開口部に指やストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップなどがかからないようにする	24
	[画像がありません]表示が出る	装着しているカードまたは内蔵メモリーに画像がない	撮影してから再生する	31・33
画像編集	画像の加工や回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	62
その他	[プロテクトされています]表示が出て、データを消去できない	消去しようとしているデータにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	62
	「撮影可能枚数/撮影可能時間[P120]」に記載の記録ができない	記録容量が、カードに表示している数値より少ない	カードの仕様によっては、カードに表示している記録容量を持たない場合があります。詳しくは、カードの説明書をご覧ください。	120

困った状態になった時(つづき)

シーン機能の制限事項

(スポーツ)	フォーカスレンジをマクロ (マクロ) には設定できません。
(夜景&人物)	
(キャンドル)	解像度を 0.3M に固定します。 フラッシュは使えません。
(夕日)	フォーカスレンジをマクロ (マクロ) には設定できません。
(逆光)	
(花火)	フォーカスレンジをマクロ (マクロ) には設定できません。 フラッシュは使えません。

シーン機能の手ぶれ軽減・花火と ISO 感度設定について

手ぶれ軽減(手ぶれ軽減)または花火(花火)に設定している時に、ISO感度の設定を変更すると、シーン機能の設定は自動的にフルオートAUTOに変更します。
また、ISO感度をISO-A以外に設定している時に、シーン機能を手ぶれ軽減(手ぶれ軽減)または(花火)に設定すると、ISO感度の設定は自動的にISO-Aに変更します。

仕　様

カメラの仕様

形式	CCDデジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式	デジタル記録
記録画像ファイルフォーマット	**静止画像：**JPEG形式 （DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠） （注）DCFは(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**QuickTime Movie(Photo-JPEG) （映像のみ：音声記録はなし）
記録媒体	内蔵メモリー：約26MB 外部メモリー：SDメモリーカード、 マルチメディアカード
カメラ部有効画素数	約508万画素
撮像素子	1/2.5型CCD、総画素数：約525万画素、インターレーススキャン、原色フィルター
記録画素数	**<静止画撮影モード>** 5M：2,592 × 1,944 ピクセル 3M：2,048 × 1,536 ピクセル 1M：1,024 × 768 ピクセル 0.3M：640 × 480 ピクセル **<動画クリップ撮影モード>** TV：640×480ピクセル、30 フレーム / 秒 WEB：320×240ピクセル、15フレーム / 秒

仕　様（つづき）

ホワイトバランス	フルオート TTL、マニュアル設定可能	
レンズ	光学 3.0 倍ズームレンズ	f = 5.8mm ～ 17.4mm (35mm フィルムカメラ換算 f = 35mm ～ 105mm) オートフォーカス、5 群 6 枚(非球面2枚)、ND フィルター内蔵
絞り	開放 F=2.8(Wide)～4.9(Tele) NDフィルター選択方式	
露出制御方式	プログラムAE 撮影MENUによる露出補正機能あり(0±2.0EV 1/3EVステップ)	
測光方式	多分割測光	
撮影範囲	通常撮影　：10cm ～∞(Wide)、40cm ～∞(Tele) マクロ撮影：5cm ～ 70cm(Wide)、 40cm ～ 70cm(Tele)	
デジタルズーム	撮影時：1～4倍 再生時：1～16.2倍(解像度により異なる)	
シャッタースピード	静止画撮影モード：1/2～1/1,500秒 (最長約２秒：シーン機能花火 [花火] 時など) (フラッシュ発光時：1/30 ～ 1/1,500 秒) 動画クリップ撮影モード：1/30～1/10,000秒	
感度	静止画撮影モード： オート(ISO64～400相当)/ISO64、100、200、400、800相当(撮影MENUによる切り替え) 動画クリップ撮影モード： オート(ISO256～800相当)/ISO256、400、800、1,600、3,200相当(撮影MENUによる切り替え)	
モニター	2.5型TFTカラー液晶 約11.5万画素 (視野率約 100%) 明るさ調整：5 段階，AUTO	

フラッシュ撮影範囲	GN=6.0	約40cm～3.0m（Wide） 約40cm～1.7m（Tele）
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減	
フォーカス	TTL方式AF（9点測距/スポット）	
セルフタイマー	作動時間約2秒/10秒	
使用環境	温度	0～40℃（動作時）、－20～60℃（保管時）
	湿度	30～85%（動作時、非結露） 10～90%（保管時、非結露）
電源	電池	単3形アルカリ乾電池×2 本 電池寿命がより長い、単 3 形充電式ニッケル水素電池も使えます。 < 推奨電池 > ・三洋電機㈱製 eneloop（エネループ）HR-3UTG：2 本 ・三洋電機㈱製 単3形2700シリーズ HR-3UG：2 本 ※単 3 形マンガン乾電池は使用できません
大きさ		88.7（幅）× 59.7（高さ）× 23.1（奥行き）mm（突起部含まず　最薄部）
質量		123g（電池・カード別）

仕　様(つづき)

カメラ各端子の仕様

USB/VIDEO（通信／映像出力）端子	専用ジャック	
	映像出力	1.0Vp-p・75 Ω不平衡・同期負・コンポジットビデオ、日米標準 NTSC カラー TV 方式 /PAL カラー TV 方式（オプション MENU による切り替え）
	USB	USB 2.0 Full-Speed

電池寿命

	アルカリ乾電池（付属）	ニッケル水素電池（三洋電機㈱製）	
		eneloop（HR-3UTG）	2700 シリーズ（HR-3UG）
撮影可能枚数 *1	300 枚	550 枚	600 枚
再生可能時間 *2	700 分	750 分	900 分

*1：CIPA規格によります（松下電器産業㈱製64MBSDメモリーカード使用時）。

*2：モニターを点灯し、連続して再生した場合です。

- 常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用した時は、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間

内蔵メモリー、市販品のSDメモリーカード(128MB、1GB)を使用した場合の撮影可能枚数と撮影可能時間は以下のとおりです。

撮影モード設定	解像度設定	内蔵メモリー使用時	SDメモリーカードの種類*[1]	
			128MB使用時	1GB使用時
静止画撮影モード	5M	15枚	75枚	581枚
	3M	25枚	120枚	930枚
	1M	127枚	602枚	4,650枚
	0.3M	330枚	1,560枚	9,990枚
動画クリップ撮影モード	TV	25秒	1分58秒	15分15秒
	WEB	1分22秒	6分31秒	50分22秒

- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

*[1]:ハギワラシスコム製SDメモリーカードMシリーズを使用した値です。

仕　様（つづき）

その他

電波障害について

- この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続には、必ず付属のケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

社名、商品名について

- Macintosh、QuickTimeは米国Apple Computer, Inc.の商標または登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中では、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、 Microsoft® Windows® XP operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。
- その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索　引（50音順）

名称・用語

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

や行

ら行

操作

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

保証とアフターサービス

保 証 書

型　　名		UDC-5M(W)/UDC-5M(B)
品　　名		デジタルカメラ
保証期間		★お買い上げ日をご記入ください。 年　　月　　日　から　**1 年間**
★お客様	ご住所	〒
	お名前	（ふりがな）
	TEL	市外局番 （　　　）

★シリアル番号

※製品のシリアル番号を控えておいてください。シリアル番号は、本体下面のラベルに10桁の数字で記載されています。
※★印には必ずご記入してあることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
※配送時の伝票をこの保証書と一緒に大切に保管してください。

開発製造責任元：ユニデン株式会社
〒104-8512　東京都中央区八丁堀2-12-7
販　　売　　元：ユニデン・ディレクトイン株式会社
〒104-8512　東京都中央区八丁堀2-12-7

<ユニデンダイレクト> お客様センター

当社製品のご注文･お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

●商品のご注文	●サポートダイヤル
0120-012-123	**0120-20-20-70**

<ユニデンダイレクト>ホームページ　**http://www.uniden-direct.jp/**

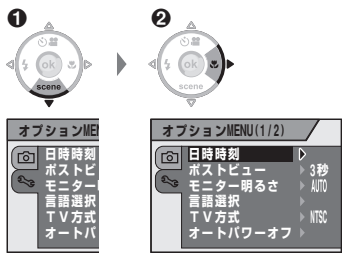
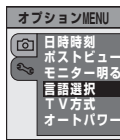
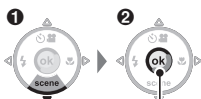
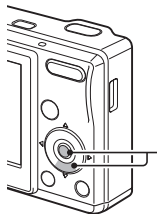
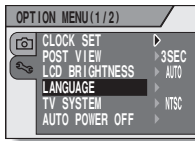
- この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき＜ユニデンダイレクト＞お客様センターが無料修理いたしますので、商品と本保証書をご提示のうえ＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにご依頼ください。
- ★印にご記入なき場合は無効となりますから必ずご確認ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにお問い合わせください。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  1. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  2. お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
  3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  4. 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
  5. 保証書の提示がない場合。
  6. 保証書にお買い上げ年月日、お客様名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  7. 消耗品（例えば電池等）の交換。
- 保証期間内でも商品を弊社窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
- ご転居の場合は事前に＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにご相談ください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 取扱説明書および保証書は大切に保存してください。
- シリアル番号は本体下面のシール部分に10桁の数字で記載されています。

CHANGING THE DISPLAY LANGUAGE

1 Turn the camera on.

2 Press the menu button.

menu

3 Display the Option Screen.

4 Display the Select Language Screen.

5 Set the selected language.

撮影のヒント

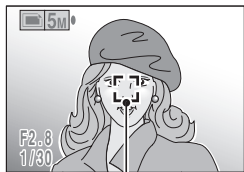
難しく思える被写体でも、少し工夫をすると、より上手に撮影できます。

基本的な撮影

■オートフォーカスなのにピントが合わないのはなぜ？

このカメラはオートフォーカス機能を搭載しており、オートフォーカスを使った撮影では、カメラがピントを自動的に合わせます。しかし、それでもピントが合わないのはなぜでしょうか？

●オートフォーカスの動作

このカメラのオートフォーカスは、シャッターボタンを半分押した時点で動作します。
オートフォーカスが働いてピントが合うと、モニターにターゲットマークが出ます。
そして、そのまま静かにシャッターボタンを押し込むとシャッターが切れます。
このようにして撮影をすると、ピントが合います。

ターゲットマーク

●ピントが合わない原因

1：シャッターボタンを一気に押した

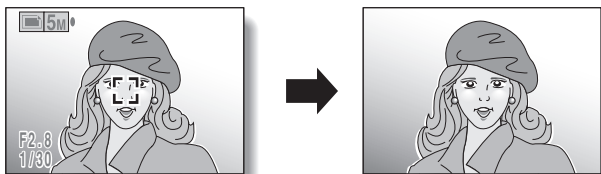
2：ピントを合わせた後に、被写体が動いた

- 一度オートフォーカスでピントを合わせても、被写体や撮影者が動いて撮影距離が変わると、ピントが合わない場合があります。

3：フォーカスの設定が、撮影距離に合っていない

- マクロモード[P49]で遠景を撮影したり、通常モードで至近距離の被写体を撮影するとオートフォーカスが働かないので、ピントが合いません。

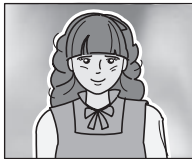
●ピントをしっかり合わせるには
①フォーカスの設定が正しいことを確認してください。
②カメラを正しく構えてシャッターボタンを半分押してください。
③モニターにターゲットマークが出るのを待ち、ひと呼吸おいてシャッターボタンを静かに押し込んでください。

このように、落ち着いてシャッターボタンを操作すると、ピントが合った美しい写真を撮影することができます。

撮影のヒント（つづき）

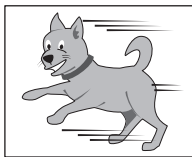
シーン機能を使った撮影

■人物を撮影しよう（ポートレートモード ）

ポイント：
- 目立つものが背景にないように注意する
- なるべく被写体に近づく
- 人物に当たる照明に注意する

解説：
- 背景に目立つものがある場合は、人物が引き立ちません。そこで、被写体に近づいたりズームアップして、背景が目立たないように撮影すると良いでしょう。
- ポートレート撮影では人物が主役になるので、人物が引き立つように撮影します。
- 逆光では顔が暗く写るので、フラッシュを使ったり露出を補正して撮影しましょう。

■動きのあるものを撮影しよう（スポーツモード ）

ポイント：
- 被写体の動きにカメラを合わせる
- ズームはWide(広角)側に
- チャンスには、ためらわずにシャッターボタンを押す

解説：
- シャッターチャンスを逃さないように、カメラを正しく構え、常に被写体をレンズに捉えておきましょう。カメラとともに自分の体を動かしながら撮影してみるのも良いでしょう。
- 手ぶれは、Wide側よりTele側の方が出やすいので、ズームはできるだけWide側にして撮影します。
- シャッターチャンスが来たら、すばやくスムーズにシャッターボタンを押しましょう。

■夜景を撮影しよう(夜景ポートレートモード)

ポイント：

- 手ぶれに十分気を使う
- ISO感度を上げる

解説：

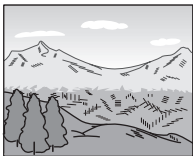
- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるため、手ぶれが起きる可能性が高くなります。三脚を使うか、三脚がない場合は壁や柱を利用して、カメラを固定して撮影してください。
- 夜景を背景にして人物を撮影する場合は、フラッシュで人物の顔が明るくなり過ぎないよう、人物に近づき過ぎない距離で撮影してください。
- フラッシュ発光後、約2秒間は、カメラを動かしたり被写体の人物が動かないようにしてください。

■風景を撮影しよう(風景モード)

ポイント：

- 高画質で撮影する
- ズーム撮影する場合は、光学ズームを使う
- 構図に配慮する

解説：

- 広角で撮影する場合や引き伸ばして写真にする場合は、なるべく高い解像度で撮影してください。
- 遠くの風景をアップで撮影する場合は、なるべく光学ズームで撮影してください。デジタルズームを使うと、画像が荒れます。また、脇をしめてしっかりとカメラを構え、手ぶれしないように気をつけてください。三脚などでカメラを固定すると良いでしょう。
- 遠近感や風景の中のポイントとなる被写体の配置など、構図に注意しましょう。

製品に関するお問い合わせは・・・

<ユニデンダイレクト> お客様センター

URL：**http://www.uniden-direct.jp/**

Web お問い合わせフォーム：
http://www.uniden-direct.jp/headfoot/form.html

TEL：商品のご注文 **0120-012-123**

サポートダイヤル **0120-20-20-70**

FAX：**0120-20-20-50**

発行日：2006年7月1日　第3版
発　行：ユニデン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7
ＵＲＬ：http://www.uniden.co.jp/

1AG6P1P3057-A
SX8BR/J-UD (0606HS-ID)